

# 日本語オノマトペの習得におけるベトナム語母語話者の強み

## The Advantages Possessed by Native Speakers of Vietnamese when Learning Japanese Onomatopoeia

グエン・ティ・タイン・トウイ

### 要旨

日本語オノマトペが日本語学習者にとって習得が難しいことは、多くの先行研究で指摘されている。世界言語にはオノマトペが豊富な言語とそうでない言語があるがベトナム語は後者である。オノマトペに日常的に触れているベトナム語母語話者はオノマトペに対する馴染みがあり、日本語オノマトペの習得に強みを有すると予想される。しかし、本当に強みを有するのか、有するとしたらどのような点で強みを有するのかを明らかにするには、日本語オノマトペの習得方法や母語のオノマトペの使用状況の考察が必要である。本論文では、独自に制作したアニメーションを学習者に視聴させ、オノマトペの使用を誘出する特定の場面を日越両言語で描写してもらった。その上で、習得方法についてのアンケートも実施した。その結果、同じ場面において使用するオノマトペには日越両言語間に対応関係にある語が多く存在し、学習者はベトナム語訳で意味を覚えていることが判明し、その点で日本語オノマトペの習得に強みを有するという示唆を得た。

**キーワード：**オノマトペ、擬音語・擬態語、ベトナム語母語話者、習得、アニメーション

### 1. はじめに

日本語にはオノマトペと呼ばれる語群が豊富に存在し、日本人の言語生活に不可欠な要素となっている。しかし、これらの言葉は感覚的で、日本語教育において重視されていない現状があり、日本語学習者にとって難しいことがしばしば指摘されている(張 1989、金 1989、彭 2007、有賀 2007)。

学習者が実際日本語オノマトペをどの程度理解・使用できているかという実証研究は、中石他(2011)以外にほとんど見当たらない。中石他(2011)は、中国語を母語とする学習者を対象に行われた研究であり、調査の結果、産出課題も作文課題も正答率は低く、オノマトペの習得の難しさが裏付けられた。一方、ベトナム語にはオノマトペが数多く存在し(Hoàng Văn Hành 1995)、日常生活でよく使用されているため、ベトナム語母語話者は、オノマトペに対する親しみがあり、日本語オノマトペの習得に強みを有するのではないかと予想される。しかし、ベトナム語母語話者は日本語オノマトペの習得に本当に強みを有するのか、有するとした場合、どのような点での強みなのか。それらを検討するには、次のことを明らかにする必要がある。

- ① ベトナム人日本語学習者はどのような方法で日本語オノマトペを習得しているか。
- ② 同じ場面において、日本語オノマトペに対応するベトナム語が存在するか。

## 2. 本研究におけるオノマトペの範囲

### 2.1 日本語オノマトペの範囲(判定基準)

オノマトペと一口に言っても、研究者によって見解に微妙なずれが見られ、判断基準は必ずしも一定してはいない。また、先行研究においても、取り扱われているオノマトペの範囲は様々である。そこで、本研究では、オノマトペの判断基準として、①浅野・金田一(1978)『擬音語・擬態語辞典』、②飛田・浅田(2002)『現代日本語擬音語擬態語用法辞典』、③山口(2003)『暮らしのことは擬音・擬態語辞典』、④小野(2007)『日本語オノマトペ辞典』の四つを選択した。この4冊のうち、2冊以上の辞典に記載されている語をオノマトペとして取り出し、選定した語は、日本語教育学を専攻する日本語母語話者7名にも判定してもらい、4名以上に認定された語をオノマトペとしている。そのため、「ちゃんと」「どンドン」など、一般に副詞と思われそうな語も調査対象となっている。

### 2.2 ベトナム語オノマトペについての概要

ベトナム語には、擬音語・擬態語に当たる語として「từ tượng thanh (像声詞)」「từ tượng hình (像声詞)」があり、豊富なオノマトペ体系を有している。Hoàng Anh Thi (2005)は「ベトナム語の擬音語擬態語の大部分は『từ láy (畳語)』である。擬音語擬態語の例と言え、まずは反復形の言葉を思い出すのである。」と述べている。そして、Nguyễn Như Ý (1998)は、「反復語は2音節からなり、その中で、一つの音節が残りの音節の何らかの形の反復であり(Nguyễn Như Ý (1998:1758)) 擬音語は自然の音を模倣して表す語で、擬態語は①物事のイメージ、姿を模倣して表す語、②ある様子をイメージさせ、具体的な出来事を連想させる語(Nguyễn Như Ý (1998:1770))」と述べている。このように、擬音語・擬態語は必ずしも畳語ではないが、例として挙げられるオノマトペは畳語であることが非常に多い。ベトナム語には擬音語擬態語の辞書が存在せず、『từ láy (畳語)』の辞書がいくつか存在している。ベトナム語では、擬音語擬態語に比べ、『từ láy (畳語)』の造語法、擬音・擬態効果等についての研究のほうがより盛んである。

Đỗ Hữu Châu (1999)によると、ベトナム語の『từ láy (畳語)』の主な造語方法は以下の通りである。

- ・完全反復：第2の音節が第一の音節をそのまま反復する(イントネーションだけが異なる場合もある)。例：vù vù, vòng vòng, cón con, tèo tèo, khít khít, nhều nhều...
- ・最初の子音の反復。例：thần thờ, mấp mô, dầm dề, rúm ró, ngay ngắn, chắc chắn...
- ・音韻の部分の反復。例：lon ton, liu riu, lép lép, lạnh chanh...

## 3. 調査

### 3.1 調査の目的

本論文では実験的手法を用い、以下の調査項目について調査する<sup>1</sup>。

- (1) 学習者はどのように日本語オノマトペを習得しているか。
- (2) 同じ映像を描写する際に、日本語オノマトペに対応するベトナム語が存在するか。

### 3.2 実験の材料

筆者は、名大会話コーパスを調査し、その頻度の多寡から日本人の日常生活に頻出している 63 語のオノマトペを抽出した。また、三上 (2007) は 8 つの言語資料から 70 語の基本オノマトペを選定した。そこで、筆者のリストと三上 (2007) のリストを重ね合わせ、そこに共通して出てくるオノマトペを 21 語抽出し、それらの語を誘出する独自のアニメーションを制作した。アニメーションの上映時間は 10 分 34 秒である。

表 1 は調査対象の 21 語のオノマトペとその描写文である。アニメーションは全部で 21 シーンからなり、それぞれのシーンを描写した文が字幕として画面下に表示されるが、オノマトペの部分が下線となっている。「回答用紙」には、画面に表示されているものと同じ描写文が記載されている。

表 1 日常生活に頻出する 21 語のオノマトペ

順番	オノマトペ	描写文 (それぞれの画面下に表示されている字幕)
1	くるくる	かざぐるまが風で <u>      </u> 回っている。
2	うろうろ	今日は学校が早く終わって、することなかったので、学校の前を <u>      </u> していた。
3	がんがん	昨日はお酒を飲みすぎたせいで、頭が <u>      </u> する。
4	ほっ (と)	難しい仕事をぶじに終えて、 <u>      </u> 一息ついた。
5	ぐっ (と)	名曲を聞いていて、 <u>      </u> と心に来た。
6	あっさり	日本料理は油をあまり使わず、 <u>      </u> していて体にいい。
7	ぐるぐる	目が <u>      </u> する。
8	さらさら	彼女はかみが <u>      </u> で、きれいだ。
9	すっ (と)	若者が <u>      </u> と立って、お年寄りに席をゆずった。
10	たっぷり	お昼は野菜 <u>      </u> のカレーを食べた。
11	ちゃん (と)	子供は、歯磨きが <u>      </u> とできたね、とママにほめられて喜んだ。
12	どんどん	お母さんのおなかが <u>      </u> 大きくなってきた。
13	にこにこ	この子はいつも <u>      </u> している。
14	ばたばた	最近の仕事がとても忙しくて、 <u>      </u> している。
15	ぱっ (と)	友達と話している時に、 <u>      </u> いいアイデアが思い浮かんだ。
16	ばらばら	ロボットの体が <u>      </u> になっている。
17	びかびか	くつを <u>      </u> にみがいた。
18	びったり	このくつはサイズが <u>      </u> だ。
19	ふ (と)	夜道を一人とぼとぼ歩いていた。 <u>      </u> と空を見上げると、お月様が私に笑いかけてくれ、元気が出た。
20	ふらふら	道でよっぱらった人が <u>      </u> 歩いている。
21	ぼうっ (と)	今日は寝不足で頭が <u>      </u> とじていて集中できない。

<sup>1</sup> 筆者は別の論文で「ベトナム人日本語学習者が日本語オノマトペをどの程度使用できるか」について論じる予定であり、本論文ではこの点についての言及は控える。

### 3.3 調査対象者

本研究の調査対象者は、在日ベトナム人留学生（学部生、大学院生、元大学院生）が10名、在ベトナムの学習者が64名（ハノイ国家大学外国語大学の1年生12名、2年生33名、3年生19名）で、合計74名である。

### 3.4 実験の手続き

実験の流れは以下の通りである。

ステップ1: 調査対象者はアニメーションを見る。それぞれのシーンに画像が15秒止っている間に日本語オノマトペを回答用紙に記入してもらおう。回答がわからない、または思い出せない場合でも、その場面にふさわしいと思われるようなオノマトペを産出してもらうように指示した。どうしても思いつかない場合はそのまま無回答にしてもよいものとする。アニメーションの上映が終了し次第、回答用紙を回収する。

ステップ2: 5分程度の休憩のあと、日本語学習歴および日本滞在歴に関するフェースシート及びオノマトペに関する意識を問うアンケートに記入してもらった。

ステップ3: 上記アンケート記入終了後、10分程度休憩し、ステップ1で見たアニメーションを見ながら別の回答用紙にベトナム語のオノマトペで描写してもらった。回答用紙には日本語の描写文がベトナム語に訳されており、……のブランクにできるだけベトナム語のオノマトペで描写してもらうように指示した。

在ベトナムの学習者の調査は、1年生、2年生、3年生とも、大学の教室で一斉に行った。アニメーション上映中は私語を許さず、実験終了後、時間にゆとりのある5名に対してフォローアップインタビューを実施した。在日のベトナム人留学生は所属がばらばらであるため、一人ずつ個別に調査を行った。調査は2016年の6月から8月までの期間中に行われた。本論文はステップ2とステップ3のデータのみを取り扱っている。

## 4. 調査結果

### 4.1 日本語オノマトペの習得方法に関する調査結果

実験のステップ2は日本語学習歴のフェースシート及び日本語オノマトペ習得方法などについてのアンケートに答えてもらった。表2がその結果の抜粋である。

### 4.2 ベトナム語による回答

今回、調査対象者が在ベトナムの学習者及び在日のベトナム人留学生を合わせて74名である。

表3はベトナム語母語話者に描写してもらった結果である。それぞれの回答はHoàng Phê (2011)の説明に基づき、日本語訳を( )に記入する。( )の中の数はそれを答えた学習者の人数を表している。

表2 日本語オノマトペの習得方法など

番号	質問	1年生 (%)	2年生 (%)	3年生 (%)	留学生 (%)
1	ベトナム語で話す時にベトナム語のオノマトペをよく使いますか。				
	・よく使っている	0	21.2	15.8	40.0
	・時々使っている	100	75.8	63.2	60.0
	・あまり使わない	0	3.0	21.1	0
2	日本語にはオノマトペ（擬音語擬態語）という語群があることを知っていますか。				
	・知っている	100	100	100	100
	・知らない	0	0	0	0
3	日本語オノマトペがおもしろいと思いますか。				
	・おもしろいと思う	100	100	100	100
	・おもしろくない	0	0	0	0
4	（質問2におもしろいと答えた方にお聞きする）なぜ日本語オノマトペがおもしろいと思いますか。（意見記入可能）				
	・リズム感があるから	83.3	96.8	84.2	100
	・他の意見	16.7	3.2	15.8	0
5	日本語オノマトペをもっと覚えたいですか。				
	・もっと覚えたい	100	100	100	100
	・そんなに覚えなくていい	0	0	0	0
6	あるオノマトペを覚えようとする時にどのような方法を使いますか。（複数選択可能）				
	・意味をベトナム語に訳して暗記する	58.3	78.1	52.6	50.0
	・同じような部分を持つ言葉と連想して意味を覚える	50.0	28.1	68.4	50.0
	・一緒に使う動詞とセットで用法まで覚える	16.7	28.1	52.6	80.0
	・何回も口に出して発音して覚える	50.0	31.3	42.1	0
・発音しながら体の動きで覚える	33.3	12.5	36.8	0	
7	ベトナム語のオノマトペ知識が日本語オノマトペを習得する際に有利だと思いますか。				
	・有利だと思う	58.3	52.4	68.4	80.0
	・そんなに有利ではない	25.0	9	5.2	0
	・邪魔である	0	0	0	0
	・無回答	16.7	38.6	26.4	20.0

表3 ベトナム語による回答

オノマトペ	日本語オノマトペの意味に対応するベトナム語の回答例	バリエーション (日本語オノマトペと意味が完全には重ならない、異なったりえ方をした語の回答例である。)
(※がついている語は『từ láy (畳語)』ではない)		
くるくる (64/74)	vòng vòng (12) (何回も続いて回るさま、くるくる) / tit (10) / tit thò lò (40) / tit mù (2) (動いているものがはっきり見えなくなるほど速く回っているさま。)	vù vù (5) (あるものが空気と衝突する急な音。例えば扇風機の音) / vun vút (2) (細い棒が連続的で強く空気に打つ音) / từ từ (1) / chậm chậm (1) (ゆっくり) / liên tục (1) (連続的) ※
うろうろ (69/74)	loanh quanh (44) / lòng vòng (6) (あちこち歩き回る様子、うろうろ) / lang thang (10) (目的なくあちこち歩きまわっている) / lượn lờ (4) / đi đi lại lại (5) (あるところを行ったり来たりして離れようとしめない)	Thor thẩn (3) (何か考える事があるようでゆっくりと行ったり来たりするようす。) / đi dạo (1) (散歩する) / lang vãng (1) (何回も歩き回っている様子で少し怪しい様子)
がんがん (60/74)	đau như búa bổ (48) (ハンマーに打たれるように痛む、がんがんする。) / ong ong (12) (頭の中で大きな音が響くように痛むさま、がんがんする)	quay vòng vòng (1) (くるくる回っている様子) / đau như máy xén (1) (裁断機で切られるように痛むさま) / lảng lảng (1) (頭がふらふらする) / ê ẩm (1) (痛さがじんじんと長引くさま) / đau tê tái (1) (ひどくショックを受け、感覚がなくなるようなさま) / choang choáng (3) (頭がくらくらする) / ù ù (1) (頭の中でウーウーと音が響くさま) / đau dữ dội (2) (ひどく痛むさま) / nhức kinh khủng (3) ※
ほっと (56/74)	thờ phào (5) / thờ phào nhẹ nhõm (51) (ほっとした、ほっとため息ついた)	phấn chấn (1) (意気揚々とした気持ちを感じる) / sung sướng (1) (喜ぶ) / thoải mái ※ (2) / Dễ chịu ※ (1) (気持ちがいい) / vui sướng không tả nổi ※ (1) (表現できないような喜び) / yên tâm ※ (1) (安心する) / nhẹ cả người ※ (1) / nhẹ nhõm (10) (楽に感じる)
ぐっと (27/74)	Chạm tới trái tim (27) ※ (心に来た)	đong đưa theo nhạc (8) / thả hồn theo giai điệu ※ (2) / hòa cùng tiếng nhạc ※ (10) (音楽に載せてゆらゆらするさま) / tim đập thình thịch (1) (心臓がどきどきする) / rung rung (1) / cảm thấy nao nao (2) (感動する) / đạt dào cảm xúc (6) (感動で胸がいっぱい) / rạo rực (1) / hào hứng (1) (わくわく) / thanh thản (1) (心配ことがない様子) / lãng cả người ※ (3) (体がしーんとなる) / cảm động ※ (5) (感動する) / vui vẻ (3) ※ (喜ぶ) / say sưa (3) (夢中になる)
あっさり (73/74)	thanh đậm (57) / thanh mát (10) / thanh nhạt (4) / thanh (2) (味が複雑でなくあっさりしたさま)	ngon ※ (1) (おいしい)

日本語オノマトペの習得におけるベトナム語母語話者の強み

ぐるぐる (66/74)	Vòng vòng (44) (何回続いても回っているさま) / như chong chóng (20) (風車のように～、ぐるぐる、くるくる) / tít thò lò (2) (動いているものがはっきり見えなくなるほど早く回っている様子)	lờ đờ (2) (動作が緩慢する様子) / diên đảo (3) (瞳がじっとしながら周りを見ている様子) / lảo đảo (1) (よろよろ、よろめく) / không ngừng※ (1) (止まらず) / tròn (1)※ (丸く～)
さらさら (54/74)	Suôn mượt(42) / mượt mà (12) (かみの毛がさらさらしているさま)	óng á (8) (つやのあるさま) / mềm mại (5) (柔らかいさま) / bông bành (7) (ふわふわ)
すっと (57/74)	phất dậy (47) / phần phất (1) (すっと立ち上がるさま) / ngay lập tức※ (9) (直ちに～)	nhẹ nhàng (1) (軽く～) / như lò xo (1) (スプリング跳ねのように素早く～) / nhanh như chớp※ (5) (雷のように素早く～) / nhanh chóng※ (10) (速やかに～)
たっぶり (54/74)	Đầy áp (50) / Âm áp (2) / đầy※ (2) (たっぶり)	Toàn※ (10) (～ばかり) / rất nhiều※ (10) (とても多い)
ちゃんと (50/74)	cẩn thận (50) (きちんと、ちゃんと)	Sạch sẽ (14) (きれいに～) / đều đặn (3) (毎日同じように～) / sạch kin kit (2) (とてもきれい) / lấp lánh (1) (びかびか) / sáng bóng ※(3) / trắng sáng※ (1) (明るくびかびか)
どンドン (53/74)	dần dần (39) / đều đều (3) (だんだん、どンドン) / rất nhanh※ (11) (早く～)	vùn vụt (2) (ぐんぐん～) / từng ngày ※(19) (毎日、日に日に)
にこにこ (57/74)	mim cười (52) (にこにこする) / tím tím (5) (微笑む)	Cười vui vẻ (2) / hớn hớ (2) / cười toe toét (2) (楽しく笑う) / cười khúc khích (4) (小さく連続的に笑う様子、くすくす) / cười tươi rói ※(4) / vui tươi※ (3) (楽しく笑う)
ばたばた (53/74)	tắt bật (25) / luôn chân luôn tay (28) (ばたばたして手足は休まずに)	tối mắt tối mũi (5) (非常に慌ただしい) / cau có (5) (怒っているように顔をしかめる) / bực bội (1) (怒っている) / mệt mỏi (2) (疲れている) / Gấp gáp (2) / quáng quàng (1) / vội vã (1) / cuống cuống (2) (慌てる/急ぐ) / căng thẳng (2) (ストレス)
ぱっと (69/74)	Chợt nảy ra (25) / Vụt hiện ra (3) / Lóe lên (41) (ぱっとアイデアが出た)	Xuất hiện (5) (アイデアが現れた)
ばらばら (64/74)	Rời rạc (64) (ばらばら)	tan tành (2) (完全に壊された) / lung tung (5) / bừa bãi (2) / tanh bành (1) (散らかっているさま)
びかびか (54/74)	Sạch bóng (49) (つやが出るほど非常にきれい) / sáng lấp lánh (5) (びかびか)	sáng bóng※ (5) / bóng loáng※ (10) / sáng loáng※ (5) (非常にきれいにつやの出ているさま)
びったり (74/74)	Vừa khít (4) / vừa khít khin khịt (40) / Vừa vặn (20) / Vừa như in (10) (サイズがびったりしている様子)	
ふと (51/74)	Bất chợt (46) (思わず、ふと) / bất giác※ (5)(思わず、ふと～)	thần thò (2) (とぼとぼ) / đột nhiên※ (21) (突然)

ふらふら (71/74)	Loạng choạng (63) / chuệnh choạng (3) / liêu xiêu (3) / lão đảo (2) (ふらふら)	xoắn quẩy※ (3) (千鳥足)
ぼうっと (55/74)	Lơ mơ (30) / Mơ màng (25) (ぼうっと)	quay quay (3) (回っている) / choạng choạng (3) (頭がくらくらするさま) / ong ong (5) (頭の中で大きな音が響くように痛む様子) / mù mù (1) / đờ đẫn (2) (愚鈍) / trống rỗng (3) (からから) / nặng trĩch ※ (2) (重い)

## 5. 考察

### 5.1 日本語オノマトペの習得方法などに関して

学習者がどのように日本語オノマトペを習得しているかを知るために、調査のステップ 2 で、それぞれの学習者の日本語学習歴、オノマトペについての意識、オノマトペの習得方法などについて、アンケートに回答してもらった。表 2 がその結果である。

まず、学習者がオノマトペについて、どのような意識を持っているかみてみよう。

質問 2 「日本語にはオノマトペ擬音語擬態語という語群があることを知っていますか」に対して、すべてのグループで 100% の学習者が「知っている」と回答した。これは、学習者がオノマトペの概念をすでに知っていることだけを意味しているのではなく、日本語の勉強の上で、オノマトペがその一部分であることを認識しているということであろう。

質問 3 の「日本語オノマトペがおもしろいと思いますか」に対しても、すべてのグループにおいて 100% の学習者が「おもしろい」と感じている点が興味深い。

質問 4 「なぜ日本語オノマトペがおもしろいと思いますか」に対して、すべてのグループにおいて 80% 以上の学習者が「リズム感があるから」を選択している。ベトナム語においてもリズム感ある『từ láy (畳語)』が数多く使用されているため、ベトナム語母語話者にはオノマトペが持つリズム感を受け入れ評価する土台が存在していると言えよう。

また、意識調査に「あなたが知っているオノマトペの中で、すぐ思い浮かぶ語を 5 つ挙げてください」という項目があるが、学習者の記述を見ると、370 (70 名×5 例) の回答例のうち、5 例を除いて ABAB の形をしている日本語オノマトペの例である。このことから、ベトナム人日本語学習者にとっての日本語オノマトペ概念は、反復形を持つ語(「びかびか」「どきどき」などの ABAB 型)と一致していると考えてもよいだろう。

日本語オノマトペは外国人学習者にとって習得が難しいことは上述したが、ベトナム語母語話者への、おもしろくリズム感がある「日本語オノマトペをもっと覚えたいですか」(質問 5) という質問に対して、すべての調査対象者が「もっと覚えたい」と答えた。この結果は、日本語オノマトペの習得に対する強いモチベーションを示しており、ベトナム人日本語学習者のオノマトペ学習における強みを示唆していると言ってもよいだろう。

以上、日本語オノマトペに対する学習者の意識についての調査結果を見てきた。調査結果を見ると、全員の学習者が日本語オノマトペという語群の存在を認識し、それをおもしろく

感じ、もっと覚えたいと希望していることがわかった。では、学習者は日本語オノマトペを覚えようとする時、どのような方法を採用しているか見てみよう。質問6では日本語オノマトペの習得方法について複数選択可能な方式で選択してもらった。選択肢には「意味をベトナム語に訳して暗記する」「同じような部分を持つ言葉と連想して意味を覚える」「一緒に使う動詞とセットして用法まで覚える」「何回も口に出して発音して覚える」「発音しながら体の動きで覚える」などが挙げられるが、一番数多かったのは「意味をベトナム語に訳し暗記する」という項目で、一年生 58.3%、二年生 78.1%、三年生 52.6%、留学生 50%であった。成人してから第二言語を学習する場合、母語と対応させながら学習する姿が見られるが、ベトナム人日本語学習者の日本語オノマトペの学習においては、両言語間に対応する語がある故に、まさに成人型外国語学習のスタイルとなっている。

最後に、質問7では「ベトナム語のオノマトペ知識が日本語オノマトペを習得する際に有利だと思いますか」と学習者に質問したところ、すべてのグループで「有利だ」と答えた回答が50%以上の割合に達した。特に、在日の留学生の80%が「有利だ」と回答した。留学生は毎日、日本人の生活や生の日本語の環境に恵まれ、在ベトナムの学習者より日本語オノマトペに接するチャンスがはるかに多く、習得しようとする中で母語を頼りとする姿を伺うことができるよう。

このように、いくつかの習得方法の中で、多くの学習者は日本語オノマトペを覚えようとする時に、ベトナム語に訳して覚えようとするのが判明した。そして、学習者の半分以上が、母語のオノマトペ知識が日本語オノマトペの習得に有利だと主張していることも明らかになった。母語を頼りとする背景には、ベトナム語に日本語オノマトペと同様の特徴を持つ語群が存在することがあり、ベトナム語母語話者は日本語オノマトペのリズム感に親しみがあると思われる。

## 5.2 母語による描写

5.1 では学習者の日本語オノマトペに関する意識とその習得方法について考察した。その結果、半分以上の学習者が日本語オノマトペを覚えようとする時に母語を頼りにし、母語のオノマトペが日本語オノマトペの習得に有利だと考えていることが明らかとなった。

5.2 では、母語を頼りにすることが日本語オノマトペの習得に有利であるかどうかを検討するために、学習者が回答しているベトナム語について考察する。

表2の質問1「ベトナム語で話す時にベトナム語のオノマトペをよく使いますか。」と母語でのオノマトペの使用習慣について質問した。この質問に対して、1年生の100%、2年生の75.8%、3年生の63.2%、留学生の60%が「時々使っている」と回答した。学習者の多数が母語で話す時にも時々オノマトペを使用しているということは、母語のオノマトペ知識があり、それが日本語オノマトペの習得に有利な影響があると考えてもよいだろう。多くの学習者が「母語で話す時も時々使っている」を選択したというのは母語のオノマトペの使用習慣と感覚が身につけていることだろう。

次に、日本語オノマトペが使用されている場面において、ベトナム語母語話者が母語でどのように表現しているかを見てみよう。調査のステップ3には実験のステップ1にあった日本語の描写文と同じ意味のベトナム語訳（ベトナム語のオノマトペ.....のブランクに入る）が両方記載してある。できる限りベトナム語のオノマトペで描写するよう指示した。表3はその回答結果である。

一番左の欄は調査対象となる21語の日本語オノマトペである。オノマトペの下にある数字は日本語オノマトペと意味がほぼ同様のベトナム語の回答者の人数の合計である。例えば、オノマトペの「うろうろ」の下には(69/74)という数字があるが、これは学習者74名のうち、69名が「うろうろ」と意味がほぼ同様のベトナム語を産出したことを意味している。オノマトペの右の欄には、日本語オノマトペと意味が同様のベトナム語の回答である。（それぞれの語の右にある（ ）の中は回答者の人数である。一番右の欄は、回答のバリエーションである。日本語オノマトペと意味が完全には重ならない、異なるとらえ方をした語の回答例である。

調査を通じて、学習者はベトナム語のオノマトペを積極的に使用した。このことは、前述して通り、ベトナム語にオノマトペに相当する語群があること、ベトナム人学習者が普段オノマトペを使用する習慣を持っていることを表している。もちろん、実験の前に、できる限りベトナム語のオノマトペを使用して描写するようことの指示に影響を受けている可能性もあるが、それを可能にするのも、ベトナム語にオノマトペが豊富に存在し、かつ日常的に使われていることによると言える。

Hoàng Anh Thi (2005)は「ベトナム語の擬音語擬態語の大部分は反復形を持っている」と指摘している。そして、2.2ではベトナム語における主な『từ láy (畳語)』の反復造語法を紹介した。表3を全体的に見ると、『từ láy (畳語)』が圧倒的に多いことがわかる。調査材料として、オノマトペの使用を誘出する画像が上映されたが、同じ場面において、日本語オノマトペが積極的に使用されているのと同様に、ベトナム語においても、オノマトペが多く産出されたことが明らかになった。選択問題ではなく、産出問題であるため、どうしても、画像のとらえ方には個人差があり、同じ場面においてもいくつかの解釈が産出されることは当然であろう。しかし、時間が限られている中で、バリエーションも含め豊富なオノマトペが産出されたというのは、これまで述べてきたように、日本語と同様、ベトナム語にオノマトペが多く存在し、頻繁に使用されていることを証明している。

また、表3からわかるように、同じ場面において日本語母語話者とベトナム語母語話者は異なる表現、異なるとらえ方を採用することも見られる。そして、母語話者の中でも、表現が一致しているわけではない。しかし、母語話者の中で一致度の高い表現が出る場合があり、例えば、「ばらばら」の例では、ベトナム語母語話者74名のうち、64名が、「ふらふら」の例では学習者74名のうち63名が同じ回答を出している。このように、一致度が高い表現が出るケースは、その表現が一般的で、広く認知されている語の場合であり、このことは、一つの事象とそれを表現するオノマトペが社会の中で共有されていることを示している。

では、日本語オノマトペの意味にほぼ対応すると思われるベトナム語母語話者の回答人数を見てみよう。

今回の調査に協力してもらった在ベトナム学習者及び在日の留学生は 74 名である。表 3 からわかるように、「ぐっと」を除いて、すべてのベトナム語の描写文で、50 名以上、つまり全体の 3 文の 2 以上が、日本語オノマトペの意味に対応する適切な回答を産出できることが分かった。このように、学習者は高いオノマトペ能力を有している。5.1 で言及した母語を頼りとする習得方法と合わせて考えれば、学習者が日本語オノマトペの習得に有利な点があることは間違いない。

ここで、適切に回答できない人がもっとも多いと思われる「ぐっと」の回答例を見てみたい。今回調査した 21 語のうち 20 語については、74 名中 50 名以上が日本語に対応する適切なベトナム語を産出していたが、「ぐっと」は傾向が異なっている。「ぐっと」の回答例のうち、もっとも一致度が高かったのは「Chạm tới trái tim」で回答者が 27 名であった。「Chạm tới trái tim」というベトナム語の表現は「ぐっと心に来た」と対応すると思われ、「心に来た」の部分の直訳でもある。このベトナム語の表現はこのままの形で使用され、歌や話に対する感想として「非常に感動し、胸を打たれた」という意味で改まった場面でよく使用されるが、日常的な場面での使用はまれである。フォローアップ調査の協力者 5 名のうち、3 名が『『心に来た』の前にある下線のブランクに入れるためのオノマトペを一生懸命考えたが思い浮かばないので直訳をした。』と語っていた。適切な回答が思い浮かばない理由としては、日本語とは異なり、「心に来る」の前に「ぐっと」のようなオノマトペが共起しないこと、この種のオノマトペの日常的な使用場面が非常に少ないことが考えられる。

このように、ベトナム語に対応語（対応表現）が存在せず、かつ日常的な場面に使用例が少ない語については適切に回答できず、逆に、対応語があり、日常場面における使用例が多いオノマトペについては適切に回答できるということは、これまで述べてきたように、ベトナム語に豊富なオノマトペ語群があり、学習者は普段からオノマトペを使用しているが故に、日本語オノマトペの習得に強みを有することを別の面から示していると言えよう。

## 6. まとめと今後の課題

本研究は「ベトナム語母語話者は日本語オノマトペの習得に強みがあるのか」をテーマに考察・分析してきた。具体的に、学習者の日本語オノマトペの習得方法とベトナム語におけるオノマトペの使用状況を見てきた。

ベトナム語母語話者の習得方法として、すべてのグループの 50% 以上が「ベトナム語に訳して暗記する」と回答し、そしてベトナム語オノマトペの知識が日本語オノマトペの習得に強みを感じていると述べている。

日本語オノマトペを習得する際に、母語の知識を頼りにする習得方法であるが、それが本当に強みを有するかどうかを検討するため、同一の場面において、ベトナム語のオノマトペの使用状況を考察してきた。その結果、日本語オノマトペが適切に使用されている場面では

ベトナム語のオノマトペも適切に産出され、意味的に対応している語が数多く存在していることが判明した。ベトナム語母語話者は、ベトナム語オノマトペに見られるリズム感のある反復語に親しみがああり、日本語オノマトペに対応するベトナム語オノマトペの対応語(対応表現)が数多く存在するため、日本語オノマトペの習得に母語の知識が強みを有することが確認された。

しかし、強みがあることと、正確に日本語オノマトペを使用できることは、必ずしもイコールではない。したがって、ベトナム語母語話者がどの程度日本語オノマトペを正しく使用できるかの調査・研究は今後の課題としたい。また、日本語オノマトペの使用状況について、ベトナム語を母語とする学習者の特徴は、オノマトペが母語に少ない別の外国語母語話者と比較することで一層鮮明になると思われる。こうした調査・研究も今後の課題としたい。

## 参考文献

- (1) 浅野鶴子(編)・金田一春彦解説(1978)『擬音語・擬態語辞典』角川書店
- (2) 有賀千賀子(2007)「オノマトペを通じて、語彙の学習・教育について考える」『日本語学』26(7)、明治書院、pp65-73
- (3) 小野正弘(2007)『日本語オノマトペ辞典』小学館
- (4) 金慕箴(1989)「中国における日本語の擬音語擬態語教育について」『日本語教育』68号、日本語教育学会、pp83-98
- (5) 張麗群(1989)「中国人から見た日本語の擬音語と擬態語」『日本語教育』68、pp.128-130
- (6) 飛田良文・浅田秀子(2002)『現代擬音語・擬態語用法辞典』東京堂出版
- (7) 中石ゆうこ、佐治伸郎、今井むつみ、酒井弘(2011)「中国語を母語とする学習者は日本語のオノマトペをどの程度利用できるのか：アニメーションを用いた産出実験を中心として」『中国語話者のための日本語教育研究』、日中言語文化出版社、pp.42-58
- (8) 彭飛(2007)「ノンネティブから見た日本語のオノマトペの特徴」『日本語学』26(7)、明治書院、pp48-56
- (9) 三上京子(2007)「日本語教材とオノマトペ」『日本語学』26(7)、明治書院、pp36-46
- (10) 山口仲美(2003)『暮らしのことば 擬音・擬態語辞典』講談社
- (11) Hoàng Văn Hành(1995)『*Từ điển từ láy tiếng Việt*』(ベトナム畳語辞典)』教育出版社
- (12) Đỗ Hữu Châu(1999)『*Các bình diện của từ và từ tiếng Việt* (語の各側面及びベトナム語)』ハノイ国家大学出版
- (13) Nguyễn Hoàng Phê(2011)『*Từ điển tiếng Việt* (ベトナム語辞典)』ダナン出版社
- (14) Hoàng Anh Thi(2005)『*Về từ tượng thanh tượng hình trong tiếng Nhật* (日本語の擬音語擬態語について)』*Tạp chí Ngôn ngữ và đời sống* 言語生活学会誌、ベトナム言語学会
- (15) Nguyễn Như Ý(1998)『*Đại từ điển tiếng Việt* (ベトナム広辞典)』文化情報出版社

(ぐえんていたいんとうい 言語社会研究科博士課程)